

病院の理念

(いのち)

生命を育み未来を大切に

1. 人権を尊重し、心のかもった医療を実践します。
2. 地域との連携を図り、安全かつ専門的な医療を提供します。
3. 主体的に参画し、健全な病院運営に努めます。



作品名：ドラゴン 水谷初美

CONTENTS

- 院長の年頭挨拶 院長 松久 卓
- 新年の抱負
- トピックス 日々の多く活動が国立病院総合医学会で高く評価されました
- トピックス 野田聖子議員が病院視察に来てくださいました
- 診療部だより やすらぎ病棟（緩和ケア病棟）より
- 放射線科だより 長良医療センターの放射線治療について
- 臨床工学室だより 単位の雑学
- 地域医療連携室だより 地域医療連携施設の紹介マラソン
鳥澤医院の紹介 [58](#)
- 看護部からのお知らせ 特定行為看護師の活動がはじまりました
- ニューフェイス紹介
- 職員リレーノート

スタッフ募集中

看護師・介護有資格者・
看護助手





新年のご挨拶

長良医療センター 院長
松久 卓



新

年明けまして

おめでとうございます。

皆さんにおかれましては穏やかな

新春をお迎えのことと存じます。

2020年初頭から始まった新型コロナウイルス感染のパンデミックも丸3年が過ぎてやっと乗り切ることができました。昨年5月の新型コロナウイルス感染症の5類移行後は行動制限も解除され、最近は行楽地もパンデミック以前の賑わいを取り戻しているようです。

今回のパンデミックによる行動制限のため、私たちは長期間にわたり大変な不便と不快を強いられてきました。しかし反対に今回のパンデミックによる行動制限のおかげで、新たに認識できたことがいくつかあります。その1つが、「人と直接会って話すことの大切さ」です。オンライン会議やビデオ通話は、遠く離れていても会話ができるという点では大変便利なツールですが、オンライン会議やビデオ通話では、こちらの熱意や相手の反応、その場の雰囲気等はなかなか感じ取りにくいものです。また友人と会う時も、ビデオ通話より直接会って話した方が数段楽しいものです。入院患者さんの面会も然りです。家族さんにとっては、いくら主治医の先生や看護師さんから「変わりありませんよ」と言われても、実際に会って、顔を見て、肌を触れて、息遣いを感じないと安心できないものです。

このように「会話」すなわち「直接会って話す」ということは、人としての本質の一つであると思います。

またスポーツ、音楽、演劇、映画、絵画、彫刻等、「感動」をもたらす物の大切さも今回の行動制限のなかで強く認識することができました。旅行も同様です。パンデミック時にバーチャルな旅行も考えられましたが、知らない土地に行った時の感動は、実際の旅行に勝るものはないと思います。これらは空腹を満たすことはできませんが、私たちの生活に潤いと深みを持たせてくれて、いわば心の栄養素みたいなものだと思います。

今回のパンデミックのため、私たちは世の中の進歩が一時止まっていたかのような錯覚を覚えますが、実際はパンデミックの中でも世の中は確実に進歩していました。医学の分野でも新しい薬や治療法、診断基準が次々と出てきています。当院もコロナ禍のパンデミックの中、着々と緩和ケア病棟の開設の準備を進め昨年1月に開設することができました。緩和ケア診療は、当院の強みをいかし「あなたらしく生きるために寄り添い支えます」の理念のもと、今後当院の診療の柱の1つになっていくものと考えております。

この1年が希望に満ち溢れた素晴らしい年になることを願っております。

本年も宜しく願いいたします。

令和6年 新年の抱負



呼吸器内科医長
鮎 稔隆

今年は辰年、辰=龍といえば、伊奈波神社の境内社には「黒龍さん」と呼ばれる黒龍社があります。この「黒龍さん」はどんな願いも叶えてくれるとして有名なパワースポットで、なかでも『病氣平癒祈願』『合格祈願』のために全国各地から大勢の方が参拝されるほどです。伊奈波神社に参拝された際は、「黒龍さん」にも是非立ち寄ってはいかがでしょうか。

本年もどうぞよろしくお願ひいたします。



外来看護師長
辻 操

新年明けましておめでとうございます。

今年は甲辰（きのえたつ）の年。私が生まれた年も甲辰でした。辰は十二支の中でも唯一の架空の生き物で、「龍が現れるとめでたいことが起こる」と言い伝えられてきました。

甲と組み合わせると「成功という芽が成長していき、姿を整えていく」といった縁起のよさを表しているそうです。

私にとって今年は大きな節目の年！甲辰の縁起のよさも担って、身も心も引き締め人間として看護師としてももっともって成長していきたいと思っています（身体はこれ以上成長しないよう気をつけます（笑））。



副看護師長
須田 恵子

新年あけましておめでとうございます。

看護師として働き始めて10年目になりました。今まで多くの方々に温かく支えて頂き、ここまで来ることができました。今年は辰年。昇り竜のように新たなことに挑戦し、成長する1年になるように日々頑張りたいと思います。本年もよろしくお願ひいたします。



職員係
繁高 羽奈

新年あけましておめでとうございます。

社会人として働きはじめて1年が経とうとしていますが、慣れない環境の中でも多くの方々に支えられて充実した日々を過ごすことができました。

今までとは大きく環境が変わったため、苦戦したこともありましたがその分人間として大きく成長できたと思います。

今年は昨年の反省を活かし業務の効率化を図っていきたいと思っています。

本年もよろしくお願ひいたします。



地域医療連携室 医療社会事業専門員
早矢仕 翔太

新年あけましておめでとうございます。

月日が経つのは早いもので、長良医療センターへ入職し、10年が経ちました。気が付けば30代も後半・・・疲れが取れない今日この頃です。ただ、いつまでも気持ちだけは若く！！仕事もプライベートも充実した1年となるよう、頑張ります。本年もどうぞよろしくお願ひ致します。



調理師
丹羽 徹平

今年は、調理師として働きだして29年目を迎える年になります。

これまで、色々な経験をしながら多くの方々に支えられてきました。今後も、患者さまに心のこもった食事を提供できるよう努力していきたいと思っています。

今年は、しばらく出来ていなかったスポーツを再開し、健康のためダイエットを頑張りたいと思います。

日々の多く活動が国立病院総合医学会で高く評価されました

療養診療部長
船戸 道德

第 77回国立病院総合医学会（広島：2023年10月20日～21日）に行ってきました。テーマは「未来へ向かって～日本の医療を支える国立病院機構～」で、新型コロナウイルス感染拡大前のような盛会となりました。当院からも多くの職員が参加し、シンポジウムに2演題、一般口演に5演題、ポスター発表に10演題と、計17演題を発表し、他の病院の職員と活発な討議や意見交換を行ってきました。

特に、「医療DXに期待すること」～事務部門の視点から～のシンポジウムでは沖高伸夫事務部長が「医療DXを活用した事務作業の効率化について」と題して、「変わりつつある筋ジストロフィー医療」のシンポジウムでは佐藤郁子外来看護師が「筋ジストロフィー病棟療養支援の現状と未来」と題して、当院の取り組みを堂々と発表しました。



また、学会の発展に貢献する優秀な演題として、一般口演では中智晶研修医（神経小児科）が「筋疾患における新型コロナウイルスの筋注mRNAワクチンの免疫原性と筋CT画像との関連」の発表で栄えあるベスト口演賞を頂きました。その他にも、木全尚美保育士が「新型コロナウイルス感染症クラスター発生時の障害者病棟内全域レッドゾーン内における療育活動実施報告」、本田晋一児童指導員が「当院障害者病棟における患者様との「意見交換会」の取り組み～患者様とスタッフが向き合い、共により良い病棟を目指して～」、藤澤直美A3病棟看護師が「嚥下機能障害のある患者に対して冷感刺激及び干渉電流型低周波治療器を併用した効果の検証」との発表でベストポスター賞を頂きました。

日々の医療や看護、療養支援などが全国的に高く評価されたことに、職員一同、喜びと共に気が引き締まる思いでいます。引き続き、患者さんのQOLが少しでも良くなるように頑張っていきたいと思っております。

野田聖子議員が病院視察に来てくださいました

管理課長
大場 明彦



去る11月15日、野田聖子元子ども政策担当大臣が当院を視察されました。

今回の野田議員の視察は、松久院長から野田議員へ「コロナ感染症への対応等に対する職員及び重症心身障がいや筋ジストロフィーの患者を励ましてほしい」旨の手紙を送ったことがきっかけで実現したものです。

病院到着後、幹部との意見交換を行いました。野田議員は、障がいがある子の母親であり、日本筋ジストロフィー協会名誉会長を務められていることもあり、医療、特に障がい者医療については、大変詳しく、専門家を凌ぐ意見をいただくなど、ご自身の経験を踏まえ、充実した意見交換を行うことができました。

その後、松久院長の案内で病棟へ赴きましたが、野田議員自ら何人もの患者さんに声を掛けられたり、手を握って励まされるなどの寄り添った対応に患者さんも大変喜んでおられました。

また、職員への激励では、コロナ感染症を



含めた患者さんへの対応を労うと共に「現場を見て学ぶことが多かった。患者さんが皆思い切り生きていてうれしくなった。職員の皆さんのためできることをやっていきたい」と語られました。



やすらぎ病棟(緩和ケア病棟)より ～あなたらしく生きるために寄り添い支えます～

緩和ケア内科

大西 貴香

長 良医療センターに緩和ケア病棟(やすらぎ病棟)がオープンし、ちょうど1年となりました。段々と当センターならではの温かい病棟の方向性、雰囲気が出来上がってきました。

やすらぎ病棟は、中央棟4階にありダイニングは岐阜市のシンボルである岐阜城を眺める特等席です。落ち着いてゆっくりとした時間が流れる少し病棟らしくない空間です。おうちで過ごすのと同じように、生活空間として感じていただけるよう工夫をしています。



病棟の理念を「あなたらしく生きるために寄り添い支えます」として、この1年間はそれ

ぞれの患者様が何を大切とし、一番心が満たされることは何かを常に念頭においてケアさせていただくことに徹してきました。また、傍で患者様の姿を見ておられるご家族様ができるだけ悔いを残されることのないよう、一緒により時間を過ごしていただくためのお手伝いして参りました。

「ここは本当にやすらげるわね。今まで生きてきた中で、一番気持ちが悪くなくていいよ」と言ってくださった患者様がみえます。「楽しいイベントがあって、お父さんが喜んで



でいるのが良かった」と伝えてくださった奥様もいらっしゃいました。全員の方に同じよう

に感じていただけている訳ではありませんが、心穏やかに安心してやすらいでいただくことを目指しています。



一般的なイメージとして、緩和ケア病棟は何も治療をしない場所だと理解されていることがあります。しかし一般の病棟と目標とするものが違うだけで、治療は行っています。緩和ケア病棟では、病気の進行に伴って現れてくるつらい症状を少しでも楽にする症状緩和の治療を最も優先します。痛い、眠れない、食事が摂れないといった症状に対して、それぞれの方に合わせた方法で治療を行うのです。同じ症状であっても原因は皆が同じではなく、一番大きな要因が何かを考えながら治療を進めます。時にはご家族様に協力をお願いすることもあります。

病気の進行は大きな悲しみを伴い、ご本人様、ご家族様共に体も心もつらい時間となることが



多々あります。しかし、少しでも苦痛を和らげ、安心して過ごすことでよりよいお別れをすることができる可能性があります。私たちやすらぎ病棟のスタッフは、最後まで患者様の苦しさを減らし穏やかに過ごしていただくことを諦めません。私たちも共に悲しみを分かち合いつつ、よい最期を迎えられるようこれからも心を込めてお手伝いさせていただきます。

長良医療センターの放射線治療について

診療放射線技師長

加藤 力雄

放 射線治療に対して多くの知識をお持ちの方は少ないと思います。それに対し、放射線治療がどのような治療なのか、どのような病気が対象になるのかなど疑問に思っている方は多いと思います。このような方への回答にはならないかもしれませんが少し解説をいたします。

放射線治療とは、主にがん細胞を攻撃するために放射線を使用するがん治療法です。がんを消滅させたり、がんによる痛みなどを和らげたり、がんの成長を遅らせたり、がんの再発を防いだりする効果があります。

この放射線治療にはいろいろな方法があり、利用する放射線の種類やそのエネルギーの特徴を上手に扱いながら治療を進めています。また、放射線治療の方針や計画は非常に繊細で困難な作業です。そのため放射線治療医、主治医、看護師、診療放射線技師などのチームで支えています。

なお、当院の放射線治療装置は「リニアック」と言われているものです。

「リニアック」とは、直線加速器と呼ばれ

る装置で、荷電粒子を一直線上で加速させることで発生した放射線を病巣部に照射して治療を行う医療機器です。このリニアックは、高エネルギーの放射線を使用することが特徴です。X線だけでなく電子線を利用することもあり、皮膚表面の治療など多くのがん治療に使用されています。なお、放射線治療装置はリニアックの他、重粒子線を利用する大がかりな装置や体の中から治療する内部ビーム型の装置もありますが、これらの放射線治療に共通することは、正常細胞よりもがん細胞のほうが放射線に弱いことを利用し、病巣部への放射線照射によりがん細胞を消滅させるということです。

当院では来年度（令和6年度）放射線治療装置（リニアック）の更新をいたします。最新式の機器を導入することによりこれまで以上に精度が高く、微少ながんにも的確な放射線治療を行うことができます。

更に、新しい放射線治療装置が長良医療センターのこれからの医療に大きく貢献すると思います。



単位の雑学

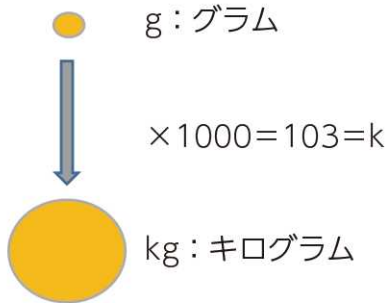
～シリーズ8回目～

臨床工学技士
岩瀬 岳志

病 院では、血圧計のmmHg、酸素ポンベのMPaなど多くの単位が存在します。輝きながら64号にて取り上げたkgが好評でしたので、さらにkg単位を掘り下げていきます。

kgの歴史

SI基本単位であるkgは、始めは「g(グラム)」にしようとしたのですが、量が小さいため1000倍のkgと接頭語が付いた単位になりました。



Kは10の3乗

4Kとか8K画素と聞いたことありませんか？

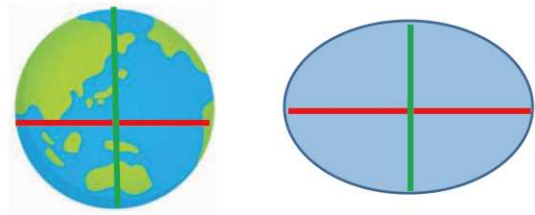


知っています！

4倍キレイ (kirei) の4Kでしょ

ユーモアのある正解と思いますが、正しくは横の画素数4000 (4K) であり、kgのkと同じ意味合いです。

北海道と沖縄では体重が変化



地球は正円ではなく少し楕円です。

赤道一周と北極点と南極点を経度一周では66km赤道の方が長いです。

地球の自転による遠心力のため赤道が引き延ばされ、平行な緯度が上がるほど遠心力の影響が小さくなり、重さは増えていきます。

よって、北海道と沖縄では体重計測すると、沖縄の方が軽くなります。(遠心力により宇宙空間に強く引っ張られるイメージ)



体重計も定期検査

測定に使用するはかりは、緯度で変化しては数値に信頼がなくなります。

正確性を上げるため、長良医療センターの体重計などは定期検査を受けています。



岐阜市からの合格シールを長良医療センターの体重計で探してみよう！

鳥澤医院の紹介

～地域医療連携施設の紹介マラソン⁵⁸～

院長

鳥澤 英紀

鳥

澤医院の鳥澤英紀と申します。松久卓院長先生をはじめ長良医療センターの先生方には病診連携にて大変お世話になっています。以前は加藤達雄先生をはじめ、主に呼吸器内科の先生方に患者さんをお願いしていましたが、松久院長先生が来られてからは、脳血管疾患等、また船戸道徳先生、宮田周作先生が同郷の旧伊自良村出身ということもあり、小児科、循環器内科にもお世話になる事が多くなり、大変助かっています。以前、精神運動発達遅滞の患者さんを紹介入院させていただいた時には、担当の看護師さんをはじめ病棟のスタッフの皆さんが大変暖かく接して下さっているのを拝見し、改めて、紹介して良かったなと思ったものです。

当院は山県市大森の自宅と隣り合わせにあります。昭和35年、当時村長であった祖父の願いもあり、私の父が無医村であった山県郡伊自良村大森に鳥澤医院を開設しました。往診も積極的に行い、また当時は車を持っている家は殆ど無く、当院までの通院が困難な村民の為、村の要請を受け伊自良北診療所を開設し、週3回17時から1時間の診察時間を



設けました。これは週2回として現在も続けています。

私は平成3年4月、それまで勤務していた岐阜赤十字病院消化器内科を退職し、父の後を継いで開業しました。旧伊自良村で開業していることもあり、乳児から高齢者まで幅広い年齢層の患者さんを診ています。疾患も多岐に渡り、内科系はもちろん、小児科、耳鼻科、皮膚科、整形外科系疾患等のプライマリーなところに対応しています。午後の診察は19時から21時としており、空いている昼間の時間帯に往診、訪問診療、依頼されている特別養護老人ホーム、認知症対応型グループホーム、知的障害・自閉症施設、伊自良北診療所の診療を行っており、また医師会活動にも充てています。山県市と提携して胃内視鏡による胃がん検診、また同市の認知症初期集中支援チームに認知症サポート医として関わっています。地域のゲートキーパー的なかかりつけ医として、長良医療センターをはじめ専門医療機関と連携しながら患者さんや家族の状況に応じた最善の医療を提供できるよう心がけています。どうかよろしく申し上げます。

特定行為看護師の活動がはじまりました

当院では、令和5年9月より特定行為研修修了看護師が活動を開始しました。



在宅・慢性領域



植松 あゆみ



平野 翔



井上 翔太

意思疎通の困難な重症心身障がい患者さんの病態とその変化を迅速かつ包括的にアセスメントすることで患者さんの状態を見極め、症状に対する管理をタイムリーに行うことが可能となります。また、患者さんの生活リズムに応じた適切なタイミングで看護ケアが提供できると考えています。ほかに、医師をはじめ多職種との架け橋となり、それぞれの専門性を発揮しながら協働できるチームをつくり、障がい児者医療および看護・介護の質向上に貢献していきたいと考えています。

いずれは、特定行為実践を活かした活躍の場の拡大や、後進の育成に尽力し、自施設が地域医療圏での役割を十分に発揮できるよう、精一杯努力していきたいと思っております。



感染領域



安江亜由美

当院は一般病棟、障がい者病棟ともに肺炎による抗菌薬治療を行うことがあります。

研修を通じ、感染症に関する知識の充足と疾病病態生理、フィジカルアセスメントを学ぶことができました。患者さんの状態に合わせ、医師の手順書に基づき、感染症に係る薬剤投与を即応することで患者さんにとって良質な医療・看護の提供に結びつけられるための特定行為実践看護師を目指したいです。

栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連



浅野真紀子

「栄養は命の源、治す力となる。食べることは楽しみ、喜びとなり人生を豊かにする」と学びこれまで食の支援を大切にしてきました。しかし近年増加する摂食嚥下障害や誤嚥性肺炎への対応の難しさを感じ、昨年度に摂食嚥下障害看護認定看護師教育課程で学んできました。また、特定行為研修では栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連について学びました。学んだことを日々の看護におけるアセスメントや勉強会の開催によるスタッフの知識の向上、予防ケア・異常の早期発見・早期対応につなげたいと思っています。

長良医療センターの新しい顔に

転入
新規採用

- ①抱負、自己PR
- ②好きな言葉、座右の銘
- ③出身地 ④趣味



副薬剤部長

よね じま ただし
米島 正

- ①他部署の皆さんとも円滑なコミュニケーションを図っていきたいと思っています。よろしくお願いします。
- ②感謝
- ③石川県 能美市
- ④大相撲観戦



医師

あいこ
ブライアント亜依子

- ①来院される方の笑顔のために私自身も笑顔を決やさず、また医療に携われることへの感謝の気持ちを忘れず、スタッフの方々と共に日々の診療に励んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。
- ②Things happen for a reason. (ぴったりする日本語はないのですが、「出来事には意味がある」「物事は理由があって起こるもの」という意味です。)
- ③岐阜県大垣市
- ④スポーツ観戦

職員リレーノート

～自由なメモ帳～

今回は、私が好きなことについて書かせて頂きたいと思います。

私は昔から音楽が大好きで、学生の頃から子育てが始まるまで、バンド活動をしていました。バンドはオリジナル曲で活動することが多かった為、メンバーと協力して作曲をしていたのですが、バンド活動を行う時間が取れなくなってからは、自身でMacBook (=Apple社が展開しているノートパソコン) のGarageBandというDAWソフト (=デジタル・オーディオ・ワークステーション。音楽制作ソフト) と、VOCALOIDソフト (=ヤマハが開発した音声合成ソフト。メロディーと歌詞をパソコンに入力して、キャラクターに歌を歌わせるソフト。初音ミクが代表格) を使って作曲をするようになり、これが日々の小さな楽しみとなっています。

DAWで曲を作る際には、実際に楽器を弾いて録音する方法の他、演奏データを入力・記録していく「打ち込み」という方法があります。後者の方法は、実際に楽器が演奏できなくても、パソコンのみで作曲をすることができます。障害児者病棟に入院されている患者さんの中にも、この方法で

作業療法士 梅村 真由美

作曲をされている方が何名かいらして、「この曲は自分が作りました！良かったら聴いてみて下さい」「母校の校歌を打ち込んでキャラクターに歌わせました！どうですか？」と制作された音楽を聴かせて頂く機会が何度もありました。(その時の患者さんのキラキラした表情、とても素敵でした!) また、おススメのソフトや音源モジュール、患者さんが好きなボカロ曲を教えてください、とても勉強になりましたし、曲も楽しく聴かせて頂きました。楽しいひと時を、ありがとうございました。



外来診療のご案内

	診察室	月		火		水		木		金	
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
呼吸器内科	32	加藤 達雄		鮎 稔隆	安田 成雄 (13-15時)	加藤 達雄		加藤 達雄		安田 成雄	
	33	浅野 幸市		松野 祥彦		大西 涼子		鮎 稔隆		松野 祥彦	松野 祥彦 (禁煙外来)
	31	大西 涼子				五明 岳展		浅野 幸市			
呼吸器外科	31			小松 輝也	小松 輝也 [初診]						小松 輝也
	33				五明 田 匡						
循環器内科	42	宮田 周作				宮田 周作		谷垣 徹		宮田 周作	
ペースメーカー	42			宮田 周作 (第1・3週)							
消化器内科	43							加藤 則廣			
脳神経外科	43	荒木 有三		松久 卓 [予約紹介初診]		松久 卓		松久 卓 [予約紹介初診]		大鷲 悦子	
心臓血管外科	42			富田 伸司 (第2・4週)							
内分泌内科	54							窪田 沙希			
緩和ケア内科	203		加藤 則廣	大西 貴香	山川 英夫				松野 祥彦	大西 貴香	加藤 則廣
産婦人科	200	大西 貴香		大西 貴香			大西 貴香	大西 貴香		大西 貴香	
小児科	52				山本 崇裕						
	53	宮崎久美子	山本 崇裕		宮崎久美子			山本 崇裕	二宮 央	森 理香子	
	54				下川 祐子						
	55						山本 崇裕		森 理香子 (第1・3週)	下川 祐子	原 晃啓
	57	水野 朋紀	二宮 央	二宮 央	原 晃啓	原 晃啓	水野 朋紀	宮崎久美子	フリアント輝好	フリアント輝好	水野 朋紀
神経小児科	52		船戸 道德	船戸 道德			船戸 道德	船戸 道德		船戸 道德 (第1・3週)	船戸 道德 (第2・4週)
	53					西村 悟子	西村 悟子		渡邊 宏雄 (第3週)		
	54	安藤恵美子	安藤恵美子			安藤恵美子	安藤恵美子		加藤善一郎	西村 悟子	(西村悟子)
	57										
小児外科	55	加藤 禎洋	加藤 禎洋			安田 邦彦	鴻村 寿 (第3週)				
形成外科	55							小池 学 (第2・4)			
リハビリ診療	57	水野 朋紀	二宮 央	二宮 央	原 晃啓	原 晃啓	水野 朋紀	宮崎久美子	二宮 央	下川 祐子	水野 朋紀
脳神経外科(小児)	53										近藤 五郎 (第4週)

※予約制を行っています。再診予約電話058-232-2800(平日8時30分~17時15分)

交通案内



自動車

- 高山方面より
東海北陸自動車道
関インターより30分(R156号線経由)
- 名古屋方面より
東海北陸自動車道
一宮木曾川インターより30分(R22号線経由)

電車・バス

- J R 東海道本線岐阜駅下車又は名鉄名古屋本線岐阜駅下車
岐阜バス
- 長良医療センター行(所要時間26分) 終点下車
J R 岐阜駅前 バスターミナル ⑬番のりば
名鉄岐阜駅前 バスターミナル ④番のりば
- 松籟団地行(所要時間23分) 長良医療センター口下車▶徒歩5分
J R 岐阜駅前 バスターミナル ⑬番のりば
名鉄岐阜駅前 バスターミナル ④番のりば



国立病院機構 **長良医療センター**
http://www.hosp.go.jp/~ngr/

〒502-8558 岐阜市長良1300-7
代表TEL:058-232-7755 FAX:058-295-0077
予約センター-TEL:058-232-2800

●令和6年1月1日発行 ●印刷/山興印刷株式会社